

日本原子力学会 第 151 回倫理委員会
議事録

1. 日 時：2025 年 7 月 18 日（金）14:30～17:00
2. 場 所：原子力学会事務局会議室+Zoom（ハイブリッド） ※：Zoom 参加
3. 出席者：大場委員長*、沖田副委員長、神谷幹事、浅原委員*、大久保委員、佐藤委員、
芝原委員、出町委員*、中野委員*、中村委員、福家委員、藤田委員、溝上委員、
吉永委員（委員 17 名中 14 名出席）
小崎特別委員*、瓜谷特別委員*
オブザーバー 伊藤(公)氏

4. 資 料：

- 倫 151-1-1 前回議事録（案）
- 倫 151-1-2 委員の退任および新委員について
- 倫 151-1-3 倫理委員会 活動実績と引き継ぎ事項
- 倫 151-1-4 倫理委員会関連規則
- 倫 151-2-1 倫理委員会活動計画
- 倫 151-2-2 倫理委員会役割分担表
- 倫 151-3-3-1 2025 年秋の大会企画セッションに係る企画・準備について
- 倫 151-3-2 企画セッション提案書最終版
- 倫 151-3-3 野呂氏予稿（核セキュリティ文化の醸成）
- 倫 151-3-4 横山氏予稿（核セキュリティ文化醸成活動の実践）
- 倫 151-4 2025 年度倫理研究会の企画（案）
- 倫 151-5 2026 年春の年会企画セッションに係る企画・準備について
- 倫 151-6-1 倫理規程改定に向けた検討について
- 倫 151-6-2 倫理規程改定学会誌投稿記事
- 倫 151-6-3 倫理規程改定学会誌掲載会告
- 倫 151-7-1-1 標準委員会倫理教育資料
- 倫 151-7-1-2 標準委員会倫理教育において寄せられたご意見、ご質問

5. 議事概要：

(1) 前回議事録について

神谷幹事から資料 151-1-1 に基づき説明があり、特にコメントはなく、了承された。

(2) 委員の退任および新委員について

大場委員長から、資料 151-1-2 に基づき説明があった。オブザーバー参加の伊藤(公)氏から退任の挨拶、新委員、理事委員および特別委員から就任の挨拶があった。

・退任委員：伊藤(公)氏

・新委員（6 月 20 日理事会承認）：浅原氏（国際原子力機関）、吉永氏（三菱総研）、佐藤氏（原

子カエネルギー協議会)

- ・理事委員：溝上氏（東京電力ホールディングス）、村田氏（大阪大学）、特別委員：小崎氏（北海道大学）、瓜谷氏（名古屋大学）

(3) 理事引継ぎ資料、倫理委員会関連規則について

神谷幹事から、資料 151-1-3 および 151-1-4 に基づき、倫理委員会の活動内容、倫理委員会規程（委員会の任務等）および倫理委員会運営細則（委員の責務等）について説明があった。

大場委員長から、委員会の活動としては倫理規程改定が終わって区切りが付き、また、新たな委員が加わったタイミングでもあり、委員会の活動について考えるよい時期になるので、活動に関して新しいアイデア等があれば出してほしい旨の発言があった。また、倫理委員会ホームページの充実等、委員会活動の蓄積や発信について、次回委員会で議論することとした。

(4) 活動計画および役割分担について

沖田副委員長から資料 151-2-1 および 151-2-2 に基づき説明があった。主な議論等は以下のとおり。

- ・次回委員会では、佐藤委員にミニ講演会をお願いする。
- ・ミニ講演会に関して、理事委員および特別委員の倫理委員会の担当期間は1年ないし2年なので、優先して担当していただけるよう、担当時期の見直し・調整を進めることとした。
- ・退任した伊藤(公)氏の旧分担を、佐藤委員に引き継ぐ形で分担を見直している。

(5) 2025 年秋の大会企画セッションについて（主担当：出町委員、副担当：大久保委員）

出町委員から、資料 151-3-1～151-3-4 に基づき説明があった。主な議論は以下のとおりで、メールベースで検討・調整を進めていくこととした。

- ・テーマ：核セキュリティ文化醸成のための倫理的な行動とは
- ・日程は9月10日（水）で決定。
- ・お二人の講師の当日の発表内容が重複しないように調整を進める。
- ・倫理規程が改定されて最初の企画セッションになるので、倫理規程の核セキュリティ文化関連の箇所（憲章7、行動の手引7-1、7-2、7-3等）を座長から紹介してセッションを進めるのがよいのではないかと。
- ・総合討論の進め方を具体化する必要がある。2～3つの討論テーマの設定、指定討論者をあらかじめお願いしておくのかなど、講師との調整も含めて、検討する。検討状況は、適宜メールベースで委員会大に共有し、意見を集約していく。
- ・懇親会の実施についても、講師の都合を優先して調整を進める。
- ・当日の役割分担について、大会参加者を把握して、明確化していく。閉会挨拶は大場委員長をお願いする。

(6) 2025 年度倫理研究会について（主担当：芝原委員、副担当：中野委員）

芝原委員から、資料 151-4 に基づき、前回から更新した企画案について説明があった。主な議論は以下のとおりで、引き続き検討していくこととした。次回委員会までは、メールベースで前

広に検討していく。

- ・内容案：メーカーの調達先での品質不正問題が連続しており、講じられている対策に見直すべき点があるか等について議論する。
- ・前回委員会での様々な意見を反映した結果のためか、企画内容が萎んでしまった印象がある。
- ・学会の活動として場を提供する意義として、研究会に参加した会員等の参加者が、お互いを高め合うことがある。
- ・単一講演者と倫理委員会だけの参加者では、学会の活動としての意義が達成できないのではないか。広く参加者を募る研究会とした方がよい。
- ・参加者が自分事として考えられるように、あるいは自分の周りでも起こらないのか、という観点で議論できるようにすることが必要ではないか。
- ・メーカー中心でやられている品質研究会での問題意識があれば、それを倫理研究会の場で実施することはよいと思う。

(7) 2026年春の年会企画セッションについて（主担当：大久保委員、副担当：藤田委員）

大久保委員から、資料 151-5 に基づき説明があり、引き続き検討していくこととした。主な議論は以下のとおり。

- ・テーマ案 1：ルールを守れない環境がなぜ発生するのか（心理学的な観点から講演、議論を行う）、テーマ案 2：日本人のものの考え方と倫理（日本型思考構造と倫理や安全文化との関係について考察する）
- ・テーマ案 1 の場合、倫理研究会との連続的な企画として議論を深めていくことが考えられる。

(8) 倫理規程改定について

神谷幹事から、資料 151-6-1 に基づき、改定された倫理規程の周知等に係る予実績について説明があり、また、資料 151-6-2 および 151-6-3 に基づき、学会誌への投稿原稿について共有した。

(9) その他

- ・6月4日に実施された標準委員会に対する倫理教育の場でも出されたご意見等については、時間の都合で、次回委員会で取り上げることにした。

6. 次 回：別途調整することとした。

以上